



8 ~ q ページ

4

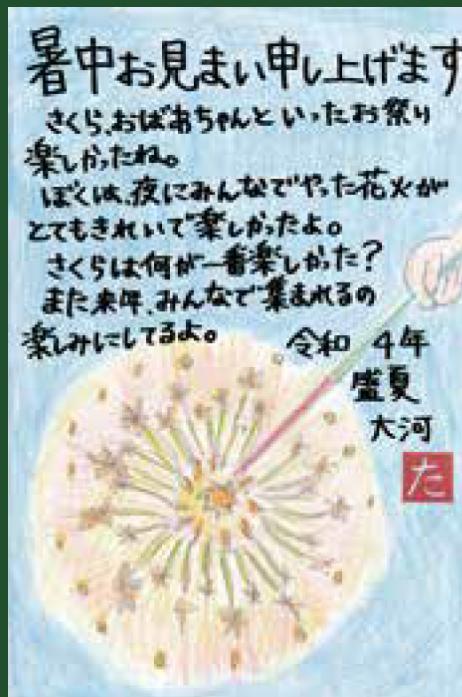
なつ たよ か かた  
夏のお便りの書き方

今年の夏、みなさんは何を楽しみたいですか？

自然観察 お祭り 名所めぐり…



# いろいろな夏のお便り はがきに書いて、伝えたい人に送りましょう。





なつ たよ か かた  
夏のお便りの書き方

がつ か しょうしょ がつ か りっしゅう ぜんじつ  
7月7日(小暑)から8月6日(立秋の前日)までに  
だ なつ たよ しょちゅう み  
出す夏のお便りを、暑中見まいといいます。  
がつ か りっしゅう ざんしょ み  
8月7日(立秋)からは、残暑見まいになります。

しょちゅう み ざんしょ み か かた  
暑中見まい(残暑見まい)の書き方

しょちゅう み  
暑中見まいってなあに? うすい字をなぞりましょう。

がつのか しょうしょ がつむのいか りっしゅう ぜんじつ  
7月7日(小暑)から8月6日(立秋の前日)までに少し夏のあいさつのお便りを、  
だ なつ たよ  
しょちゅう み  
暑中見まい

い  
と言います。

がつのか りっしゅう す ば あい  
8月7日(立秋)を過ぎた場合は、

ざんしょ み  
残暑見まい

になります。

がつ にち たいよ だ  
7月23日の大暑から出す  
とも言われます。

うすい字を  
なぞりましょう。

# えどじだい 江戸時代の「暑中見まい」について か 書かれています。



まめ 豆ちしきを読みましょう。



「暑中」の間はとても暑いので、江戸時代には、「暑中見まい」として  
夏負けをふせぐ「食べ物」をお土産に持つて行ったと言われています。



しょちゅうみ ざんしょみ  
こんな暑中見まい(残暑見まい)があるよ

だれにどんなお便りを送っているかな?



え どの絵を書きたいですか。○で囲みましょう。

# だれにどんな たよ お便りを おく 送っているかな?



え どの絵を書きたいですか。  
かこ ○で囲みましょう。



**③ 本文(結び)**

Ⓐ 相手の健康を願う

① これからのこと

- ・かぜなどひかないように気を付けてください。
- ・今度いつしょに〇〇へ行きましょう。
- ・これからもよろしくお願ひします。
- ・お返事待っています。

**② 本文**

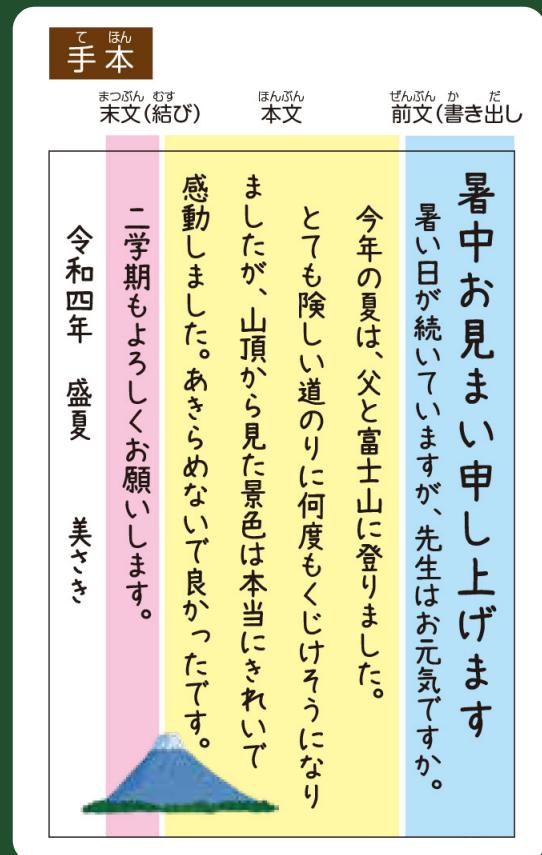
Ⓐ 伝えたいことをはっきり書く  
① 用けんを分かりやすくする

- ・キャンプに行って、大きなカブトムシをとりました。
- ・今度、運動会の写真を送ります。
- ・発表会に来てください。

**① 前文(書き出し)**

Ⓐ 季節のあいさつ  
① 相手の健康をたずねる

いろいろな暑い日が続いている。  
暑い日が続いている。おも〇〇さん、お元気のことだと思います。  
おじいちゃん、おばあちゃん、お体のおかげはどうですか。



# めんかかた うら面の書き方を おぼ覚えましょう。

お便りは、3つの部分に分けて書きます。



# ①前文（書き出し）を読みましょう。

**手本**

まつぶん まつぶん  
末文(結び) 本文

ぜんぶん か だ  
前文(書き出し)

てほん

令和四年 盛夏 美さき

一一学期もよろしくお願ひします。

今年の夏は、父と富士山に登りました。  
とても険しい道のりに何度もくじけそうになりましたが、山頂から見た景色は本当にきれいで感動しました。あきらめないで良かったです。

暑中お見まい申し上げます  
暑い日が続いていますが、先生はお元気ですか。

## ①前文(書き出し)

きせつ  
ア 季節のあいさつ

あいて けんこう

イ 相手の健康をたずねる

き い かた  
ウ 決まった言い方

いろいろな  
か だ くふう  
書き出しを工夫  
してみよう!

あつ ひ つづ  
・暑い日が続いています。

げんき おも  
・○○さん、お元気のことと思ひます。  
からだ

・おばあちゃん、お体のおかげんはどうですか。

季節のあいさつは大きめに書き、  
句点（。）は付けません。

# か テキストに書きましょう。

## 1 前文(書き出し)

きせつ  
**ア 季節のあいさつ**

あいて けんこう

イ 相手の健康をたずねる

き い かた

ウ 決まった言い方

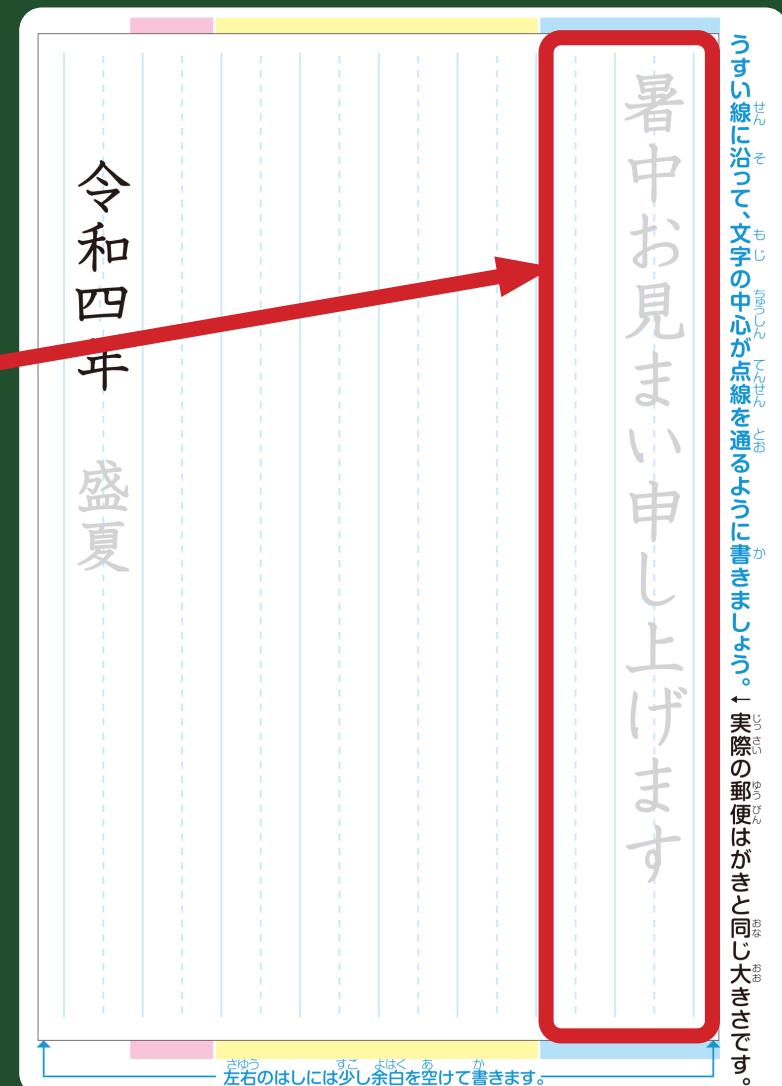
いろいろな  
かだくふう  
書き出しを工夫  
してみよう!

あつひつづ  
・暑い日が続いている。

げんき おも  
・〇〇さん、お元気のことと思います。

からだ  
・おばあちゃん、お体のおかげんはどうですか。

季節のあいさつをなぞり、  
手続きを書きましょう。





## ほんぶん よ ②本文を読みましょう。

て ほん  
手本

まつぶん むす  
末文(結び)

ほんぶん  
本文

ぜんぶん か だ  
前文(書き出し)

令和四年 盛夏 美さき

二学期もよろしくお願ひします。

暑中お見まい申し上げます

暑い日が続いているのですが、先生はお元気ですか。

今年の夏は、父と富士山に登りました。  
とても険しい道のりに何度もくじけそうになりましたが、山頂から見た景色は本当にきれいで感動しました。あきらめないで良かったです。

### 2 ほんぶん ②本文

つた  
ア 伝えたいことをはっきり書く  
ようけん わ  
イ 用件を分かりやすくする

- ・キャンプに行って、大きなカブトムシをとりました。
- ・今度、運動会の写真を送ります。
- ・発表会に来てください。

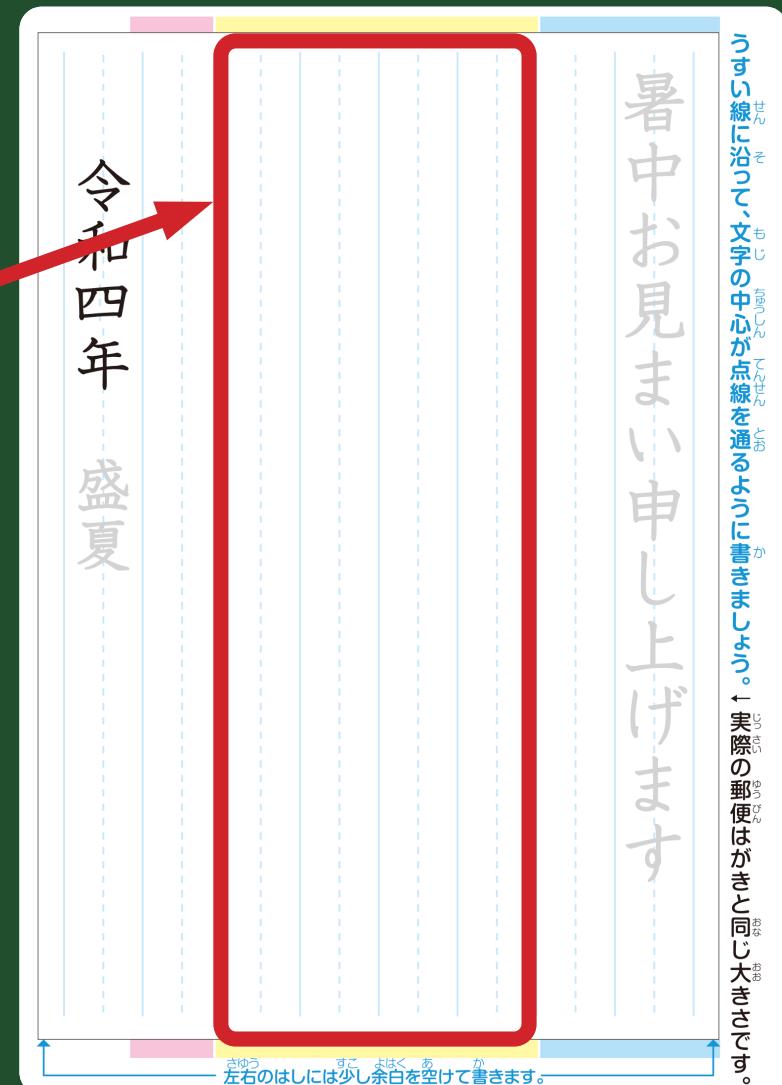
# か テキストに書きましょう。

## ②本文

- Ⓐ 伝えたいことをはっきり書く
- Ⓑ 用件を分かりやすくする

- ・キャンプに行って、大きなカブトムシを  
とりました。
- ・今度、運動会の写真を送ります。
- ・発表会に来てください。

ほんぶん か  
**本文を書きましょう。**





## まつぶん むす よ ③末文（結び）を読みましょう。

てほん  
**手本**

まつぶん むす  
末文（結び）

ほんぶん  
本文

ぜんぶん かだし  
前文（書き出し）

令和四年 盛夏 美さき

暑中お見まい申し上げます

暑い日が続いていますが、先生はお元気ですか。

今年の夏は、父と富士山に登りました。  
とても険しい道のりに何度もくじけそうになりましたが、山頂から見た景色は本当にきれいで感動しました。あきらめない良かつたです。

一学期もよろしくお願ひします。



### ③ まつぶん むす 末文（結び）

ア あいて けんこう ねが  
相手の健康を願う

イ これからのこと

- ・かぜなどひかないように気を付けてください。
- ・今度いつしょに〇〇へ行きましょう。
- ・これからもよろしくお願ひします。
- ・お返事待っています。

# か テキストに書きましょう。

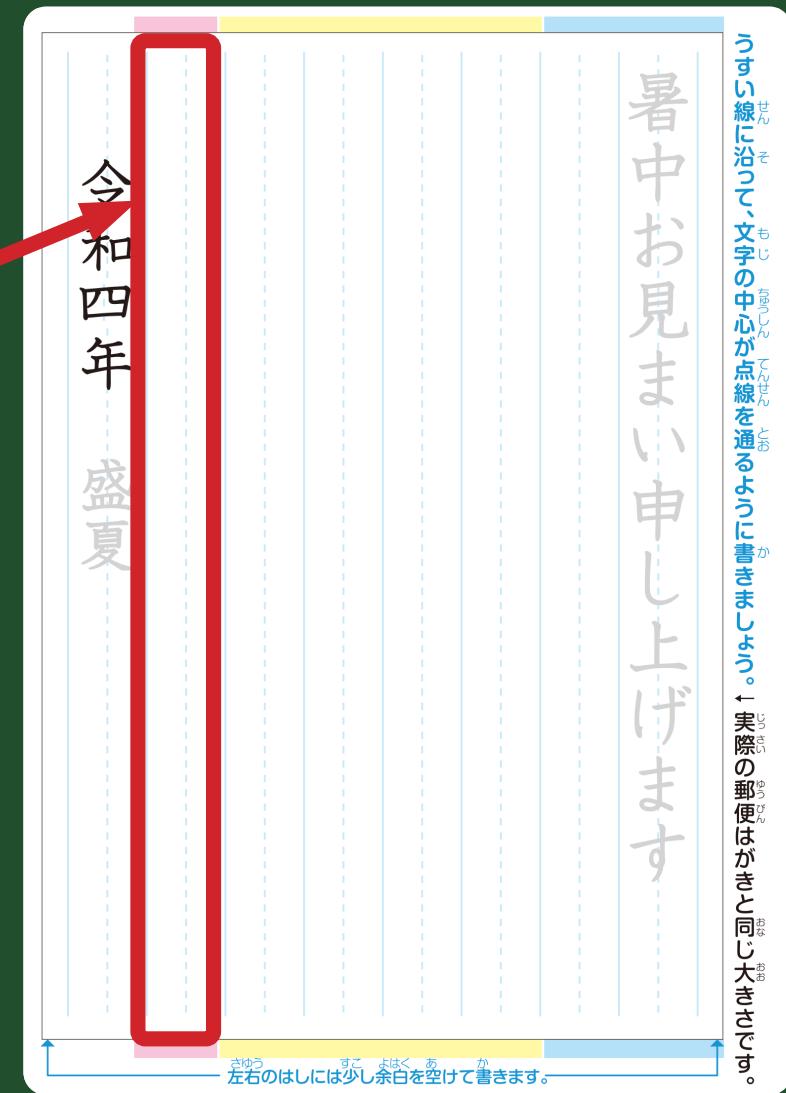
## 3 まつ ぶん むす 末文(結び)

Ⓐ あいて けんこう ねが  
**相手の健康を願う**

Ⓑ これからのこと

- ・かぜなどひかないように気を付けてください。
- ・今度いつしょに〇〇へ行きましょう。
- ・これからもよろしくお願ひします。
- ・お返事待っています。

## まつぶん むす 末文(結び)を書きましょう。



# テキストに書きましょう。

さいご  
最後に、

- 年号

- 季節を表す言葉

- 自分の名前

か  
を書きましょう。

ねんがじょう がんたん か  
年賀状に「元旦」と書くように、

しょちゅうみ せいか  
暑中見まいには「盛夏」、

ざんしょみ ばんか  
残暑見まいには「晚夏」

か  
と書きます。



暑中お見まい申し上げます

うすい線に沿って、文字の中心が点線を通りるように書きましょう。→ 実際の郵便はがきと同じ大きさです。

さゆう すぐ よはく あ か  
左右のはしには少し余白を空けて書きます。